

ヨコツナサシガメ

分類群	昆虫類	原産	中国
学名	Agriosphodrus dohrni	分布	国内分布は未知であるが、横浜市青葉区、真鶴半島、小田原市ほか県内西部で確認されている。
科名	サシガメ科		
区分	防除種B		
特長	光沢のある黒色で、腹部側面が広く張り出し、張り出した部分が黒白の縞模様になっている。	侵入経路	不明
影響	捕食	防除方法	不明
その他			

アカボシゴマダラ

分類群	昆虫類	原産	中国
学名	Hestina assimilis (在来H. a. shirakiiを除く)	分布	埼玉、東京、神奈川などで定着。藤沢市から逗子市・横浜市南部にて確認されている。
科名	タテハチョウ科		
区分	侵入監視種A		
特長	在来種のゴマダラチョウによく似た姿をしているが、後翅の外縁には鮮やかな赤い斑紋が出現する。	侵入経路	意図的な放蝶行為によって拡散している。
影響	捕食、競合、駆逐	防除方法	法令順守の強化、啓蒙・教育
その他			

セイヨウオオマルハナバチ

分類群	昆虫類	原産	ヨーロッパ
学名	<i>Bombus terrestris</i>	分布	北海道などを中心に国内の広範囲に定着している。丹沢大山での個体が確認されたことがある。
科名	ミツバチ科		
区分	侵入監視種A		
特長	胸部・腹部のそれぞれが鮮やかな黄色と黒色の縞模様で、腹部の末端は白色を呈する。	侵入経路	全国的にトマトの授粉用昆虫として利用されてきた。
影響	競合、駆逐	防除方法	困難
その他			

アルゼンチンアリ

分類群	昆虫類	原産	南アメリカ
学名	<i>Linepithema humile</i>	分布	広島、愛知などにて定着。横浜市中区でも確認されている。
科名	アリ科		
区分	侵入監視種A		
特長	体長は約2.5 mm、体色は淡黒褐色。多女王制で大きなコロニーを形成し、繁殖力が強い。	侵入経路	物品の運搬に混入し、港湾地域や軍基地近くに侵入し分布を拡散している。
影響	競合、駆逐、その他	防除方法	アリ駆除剤散布
その他			

ギフチョウ

分類群	昆虫類	原産	日本
学名	Luehdorfia japonica	分布	日本固有種であるが、本来の分布域外である県内北部石砂山、津久井郡藤野町などに放蝶されている。
科名	アゲハチョウ科		
区分	準・防除種B		
特長	黒と黄色の縞模様になった翅を持つ。後翅の尾状突起には、基部に赤い眼状紋が、外縁部に橙色の紋列と青色の点列がある。	侵入経路	意図的な放蝶行為によって拡散している。
影響	競合、駆逐	防除方法	不明
その他			

ホソオチョウ

分類群	昆虫類	原産	ロシア東部、中国、朝鮮半島
学名	Sericanus montela	分布	静岡、京都などで定着。県内で発生が確認されている。
科名	アゲハチョウ科		
区分	準・侵入監視種A		
特長	春型では全体に白い翅色を持ち、夏型は黒色と黄色を呈する点、長い尾状突起を持つ点で類似する種はない。	侵入経路	意図的な放蝶行為によって拡散している。
影響	競合、駆逐	防除方法	集中的な採集除去、啓蒙・教育、随伴侵入の防止
その他			